



第一地区

第41号

令和2年3月発行

住民自治協議会だより

茂菅・新諏訪町・西長野・桜枝町・狐池・花咲町・往生地・横沢町・西町上・西町南・上西之門町・西之門町・栄町・立町・若松町・旭町・長門町

(発行者) 第一地区住民自治協議会



写真は昨年10月の台風19号豪雨災害発生時のものです。長沼支所様からご提供頂きました。水害のすさまじさに只々驚愕するばかりです。改めて被災された方々にお見舞いを申し上げます。

復興の一助として、昨年12月に第一地区住民のみなさんをお願いをしました「災害義援金」は総額で934,772円になりました。1月22日に長野市へ送金しました。市内32地区住自協全体では16,104,421円となりました。ご協力ありがとうございました。また、義援金とは別に区長会の視察研修を中止し、20万円を被害の大きかった長沼地区住自協へ見舞金としてお届けした事も併せてご報告致します。

今回の水害により、あらためて災害が身近なものであることが実感させられました。平成 28 年に長野市が作成した「地区別防災カルテ」によりますと、第一地区の防災課題として、『地区内ほぼ全域に土砂災害の警戒区域、危険箇所があり、警戒が必要で早期避難への対応が課題。土砂災害により茂菅地区で孤立の可能性があり長期避難への対応が必要。浸水の想定は無く、浸水被害はほとんど無いものと考えられるが、土砂崩落により裾花川の河道閉塞が発生する可能性もあり注意が必要』とあります。（防災カルテは市ホームページで閲覧できます）

昨年 10 月の様な川の氾濫による浸水の被害は少ない地域と言えるでしょうが、大雨による土砂崩れや大地震への備えは必要と思われま



信州大学教育学部の廣内教授（自然地理学）は防災講演会の中で、『その時なにが起こり、どうなるのか？を常日頃から考えておくことが重要』と仰います。

自宅の耐震補強や家具の固定、外出先では身の回りの危険に気を配ることを習慣にする。また家族とは、家・勤務先・学校等の周辺の危険箇所や地域の避難場所の確認、日用品の備蓄、緊急時の連絡方法（災害伝言ダイヤル 171 等）と集合場所を決めておく等が重要です。日常の生活の中で、自分と家族の防災力を高めましょう。



令和元年度、第一地区防災関係の取組み

5月26日 中央消防署主催「地域防災力向上研修会」

第一地区から第五地区の区長、防災指導員が参加。消防署員から各種防災力向上に関する研修を受ける。右の写真は倒壊物等の下敷きになった人を身近な道具（車のジャッキ）で救助する訓練の様子です。



6月14日・10月18日 防災訓練打合せ会

安全防災正副部長、消防団第一分団、防災士、長野市地域活動支援課が参加し、本年度の第一地区防災訓練について検討しました。

6月21日 長野商工会議所主催セミナー「長野市の地震災害に備えるには」・長野市社会福祉協議会主催 講演会「広がる笑顔と可能性 災害にも強い地域の支えあい活動」

安全防災正副部長・事務局参加聴講しました。



6月23日 「長野市消防団ポンプ操法大会」

消防団長野第一分団が7位入賞されました。



9月4日 第三地区、鍋屋田小学校共催「地域防災訓練」

第一地区からも、安全防災正副部長、区長、防災士、地域活動支援課、事務局が参加しました。

10月27日 第一地区防災訓練実施

参加者は各町防災会長（区長）・各町防災指導員・防災士・地域活動支援課・事務局の計 50 名。避難所開設時に必要となる諸設備の中から今回は、簡易トイレ、発電機、水浄化装置の操作試験や設置訓練等を行い、避難所運営の中心となる防災担当者による実践的な防災訓練を実施しました。



第一地区住自協では安全防災部会を中心に、住民が安心して暮らせる地域であるために、防災訓練の実施、防災備品の拡充、防災研修への参加等の活動を行っています。次年度は地区防災訓練に加え、信州大学と連携した防災訓練も予定しています。大勢の住民の方の参加をお願いします。



10月3日 健康福祉部会 ー生活支援体制整備事業ー

長野市出前講座「地域づくり」講座 講師：長野市地域包括ケア推進課 中西則行氏



「団塊の世代が後期高齢者となり、働き世代は減るため以前と同じ様な医療・介護保険に頼ることが困難になると予想されています。継続的に介護保険サービスを受けられるのは、要介護状態の方だけで、要支援等で通所サービスを受ける方は、問題が解決したら地域の活動へ移行することになります。

健康維持には『体の活動量』と『脳の活動量』が必要で、合わせて週2～3回の活動・参加が理想的です。この地域に、高齢になっても毎週参加できるような、運動・交流・趣味などの場がありますか？長野市ではご希望に応じた、介護予防活動の紹介と仲間づくりを支援する講座を用意しています。ぜひご活用ください」とのことでした。

10月4日 環境部会 ー湯福川清掃活動ー

環境部会員と横沢住民による、年に一度の湯福川清掃活動、今回は合わせて27名で実施しました。川底に土砂が堆積し雑草が繁茂する為、5年程前に市に依頼し土砂を取り除いてもらいましたが、また堆積が進んでいます。次年度以降、市へ除去依頼を考えていますが、写真の箇所、神社境内前にはホタルが生育しているとのことですので「ここはこのままにしておこう」というのが、環境部会員さん達の気持ちです。今年の初夏にホタル観賞ができればいいですね。



10月16日 健康福祉部会 ーふれあいの集いー

各町の民生児童委員さんにご協力を頂き、高齢のひとり暮らしの方々にお集まり頂く「ふれあいの集い」を西長野の自治会館で開催しました。参加者は95名と今年も大勢の参加を頂きました。午前中は篠ノ井地区を中心に活動される「信州なでしこ隊」の皆さんに『ゲームで楽しく脳トレ』と題し、「1分間で何人と握手して自己紹介ができるか」「じゃんけんチャンピオン大会」「チーム対抗歌合戦」等々で約1時間の脳トレに励みました。昼食を挟んで午後は、



バイオリンとピアノの演奏で、午前中活動した脳と体をリラックスして頂きました。



10月19日 総務部会 ー第一から第五地区合同事業ー

パネルディスカッション「若者が夢見る中心5地区の活性化とは」

今年度の5地区合同事業は、第四地区の企画で表題のパネルディスカッションを行いました。信大教育学部と県立大から学生各2名、県立大講師、企業家、長野市地域生活部長のパネラー8名に第4地区会長が進行役となり、土曜日の午後の2時間を問御所のトイゴで熱く語り合いました。学生達からは、長野市が中途半端な都会で中心街に楽しく過ごせる場所がない等々のなかなか厳しい発言がありましたが、若者の率直な意見には気づかされる事も多い有意義な時間でした。



11月28日 健康福祉部会 ーすくすく講座ー

乳幼児対象のすくすく講座を、2年目となる本年度も4回開催しました。ー昨年6月の第1回の時、まだ生後3か月だった子も1歳半となり、元気に部屋の中を走り回っていました。とは言ってもまだまだ危なっかしく、お母さんは一時も目が離せません。子育てママさん達の大変さが良く分かります。来年度も開催予定です。元気で可愛いみんなにまた会いたいですね。



12月6日 教育文化部会 ー地域と学校連携事業ー



本年度2回目の「地域と学校連携事業」は、2部構成とし、前半は人権研修会として講演会を企画しました。内容は『いじめ』についてです。

講師としてお呼びした方は、小学校・中学校でいじめに遭い、成人されてから自ら命を絶たれたお子さんのお母さんです。お話からは「いじめを無くしたい」という気持ちが強く伝わり、聞かせて頂いた参加者の胸に深く響くものがありました。

後半の「地域と学校連携事業」で先生方と懇談する中では、いじめる側の周到さからその発見の難しさ等の話もありました。いじめは学校に限らず社会の至る所にあると言われますが、それにより苦しんでいる人がいることを忘れてはならないと思います。

まちかどトピックス

●地区対抗親睦ゴルフで第一地区チーム3位入賞

令和元年9月5日、信濃ゴルフ倶楽部において「第20回市長旗争奪地区対抗親睦ゴルフ大会」が市内21地区110名の参加で開催され、熱戦の末、第一地区チームが第3位に入賞しました。

●加茂小 家庭科授業で地区住民がミシンの指導

令和元年12月10日から12日、加茂小学校の家庭科授業で5年生はエプロンを6年生はナップザックをつくりました。その授業に第一地区の住民の方々7名が参加。ミシンの操作をはじめ全般にわたり子ども達に制作指導をしました。地域と学校連携事業の一幕でした。



◆第一地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町2201番地20 権堂イーストプラザND1階

電話：262-1217 (FAX 兼)

E-mail: dai1@clock.ocn.ne.jp